

広報

ふじ

NO. 181

50.5.25 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



少年自然の家でみどりの学校・タベのつとめを行う吉原小の五年生

市議会臨時会

統一地方選後初の市議会臨時会が5月15日開かれ、災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正を審議し、原案どおり可決されました。また、正副議長選挙も行われ、投票の結果、議長に中井浜次郎氏、副議長に渡辺政敏氏が選ばれました。このほか、常任・特別委員会委員の改選も行いました。

災害弔慰金の支給額を50万円から100万円に

災害弔慰金の支給額と援護資金の貸付け限度額を引き上げました。

災害弔慰金は、台風や大雨などの自然災害で死亡した市民の遺族に支給されるものでこれまで死亡者1人当たり50万円でした。しかし、死亡者と遺族との生計維持の状況を考え、生計維持者が死亡した場合1人当たり100万円、その他の場合は50万円に改正しまし

た。災害援護資金は、災害で被害を受けた世帯に、生活の立て直しに使っていただくために貸付けを行うものです。これまで被害の種類や程度に応じて最高50万円でしたが、100万円に引き上げました。

災害弔慰金、災害援護資金については、福祉事務所社会課へお問い合わせください。

議長に中井浜次郎氏

正副議長選挙を行った結果議長には中井浜次郎氏、副議

長には渡辺政敏氏が選ばれました。



中井浜次郎氏

(65才・宇東川東町)

昭和24年に吉原市議会議員に就任してから、市議9期(特例を含む)をつとめこの間吉原市議会議長、合併後は富士市議会正副議長などの要職を歴任しました。



渡辺政敏氏

(68才・今泉6丁目)

昭和38年に吉原市議会議員に就任してから、市議5期(特例を含む)をつとめ、この間衛生経済委員長をはじめ、交通安全対策特別委員長などの要職を歴任しました。



【49年7月の集中豪雨で市内全域に被害】

各委員会の正副委員長決まる

■総務企画委員会

委員長 田村陸彰 副委員長 小林大八郎

■文教民生委員会

委員長 加藤昌一 副委員長 村上勝次郎

■環境経済委員会

委員長 佐野好夫 副委員長 松野俊一

■建設水道委員会

委員長 森野芳郎 副委員長 大石松男

■国一バイパス対策特別委員会

委員長 小林武 副委員長 高木勲

■交通安全対策特別委員会

委員長 山崎隆 副委員長 羽田虎雄

■総合運動公園建設特別委員会

委員長 遠藤松吉 副委員長 遠藤栄

■公害対策特別委員会

委員長 山田慶助 副委員長 松本貞彦

■富士市地方卸売市場建設特別委員会

委員長 外山義一 副委員長 荻野一郎

■富士愛鷹山麓保全対策特別委員会

委員長 佐野喜郎 副委員長 前田徳治

■西富士一般有料道路対策特別委員会

委員長 植田祥之 副委員長 渡辺脩

■議会運営委員会

委員長 鈴木実 副委員長 服部源一郎

富士503計画の

実施状況を立入調査

市内における大気汚染のうち、二酸化いおうの環境濃度を昭和50年度中に、年平均0.03PPM以下を達成しようとする「富士503計画」は、4月1日からスタートしました。そこで、503計画の実施状況について、公害防止協定を結んだ129工場の立入調査を実施しましたので、結果をお知らせいたします

排煙脱硫の対処について

排煙脱硫装置で対処する工場は、大手を中心に32工場です。このほとんどの工場が苛性ソーダを吸収液とする湿式排煙脱硫装置を採用しています。

排煙脱硫による削減は、昭和46年の大昭和製紙吉永工場をはじめ、多くの工場に普及しました。しかし、大手工場のうち大昭和製紙富士工場、日本食品化工富士工場、興亜工業、ポリプラスチック富士工場の4工場は、工事が遅れており暫定対策を実施していますが、503計画に示された最大排出量を守っていることは立入検査で確認しました。また、鷹岡の共同ボイラ化事業を進めている10

工場についても、排煙脱硫装置が完成するまでは各工場ごとに最大排出量を守ることになっています。



【K工場の排煙脱硫装置】

工業ガス化について

当初計画で57工場が工業ガス化する予定でしたが、最終的には混燃も含めて32工場がガス化への転換に踏み切りました。

32工場のうち、重油とガスの混焼を計画している工場は13工場、規

制の強化に準じて混焼割合を変化させていきます。今後、このような方法を取入れていく工場が増加するものと考えられます。

燃料の灯油転換について

局地汚染の解消は、ガスか灯油の燃料転換にあり、窒素酸化物の対策も含めて強力に進めてきました。当初灯油燃料に切替える計画の工場は26工場ありましたが、最終的には19工場となり、残りの7工場は特A重油への転換やガスと重油の混焼で対処することになりました。

なお、灯油転換工場はすでに新設ボイラーの設置、燃焼方法の改造で切替が行われたことを立入検査で確認しました。

燃料の低いおう化について

市内の工場で使用する重油は、いおう分1.0以下に限定され、低いおう重油で対処する工場は0.5以下の特A重油使用となっています。また、工業ガス化や灯油化を計画した工場で、低いおう化に変更した工場が13工場あり、ほとんど0.5以下に重油使用となっています。したがって低いおう化で対処している工場は、当初計画の20工場に13工場を加え合計33工場となりました。

今回の立入調査で、低いおう重油の入荷が遅れたものが見うけられましたが、その後転換を確認しました。

その他

L.P.Gは、すでに昭和47年から吉田製紙、興信製紙で使用していますが、昨年10月には天間特殊製紙、今年の10月には山川工業が切り替えることになっています。また、都市ガスについては、昭和49年から市庁舎ボイラーが使用しています。

いおう酸化物の4月時における経年変化表(単位 PPM)

年月 測定場所	44年 4月	45年 4月	46年 4月	47年 4月	48年 4月	49年 4月	50年 4月
富士保健所	0.056	0.072	0.053	0.032	0.041	0.025	0.023
吉原第3中学校	0.061	0.060	0.045	0.043	0.042	0.038	0.033
勤労青少年会館	0.045	0.057	0.046	0.034	0.044	0.032	0.017
元吉原中学校	0.044	0.057	0.050	0.036	0.042	0.023	0.026
富士中学校	0.052	0.054	0.045	0.032	0.038	0.036	0.029
鷹岡公民館	0.060	0.045	0.052	0.033	0.038	0.049	0.027
大淵中学校	0.025	0.031	0.026	0.021	0.020	0.029	0.023
今泉小学校	—	—	—	—	0.045	0.047	0.030
伝法公民館	—	—	—	0.058	0.047	0.039	0.021
平均	0.049	0.054	0.045	0.039	0.040	0.035	0.025



名誉市民 渡井八郎治翁が逝去

富士市名誉市民の渡井八郎治翁が、5月3日老衰のため逝去されました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでおくやみ申し上げます。葬儀は5月12日、準市葬の礼をもって取り行いました。

渡井翁は明治17年9月5日今泉村に生まれ、同37年星一呉服店を経営、その後今泉村村会議員、吉原町町会議員の公職をはじめ沼津税務署各種調査委員、県農地委員を歴任、この間私財を公共団体に寄付、または公益のため提供され、住民の福祉向上に寄与されました。また、多年育英

事業に専念し、今泉小学校の建設をはじめ、県立富士中学校の新設に多額の私財を提供され教育振興に貢献されました。

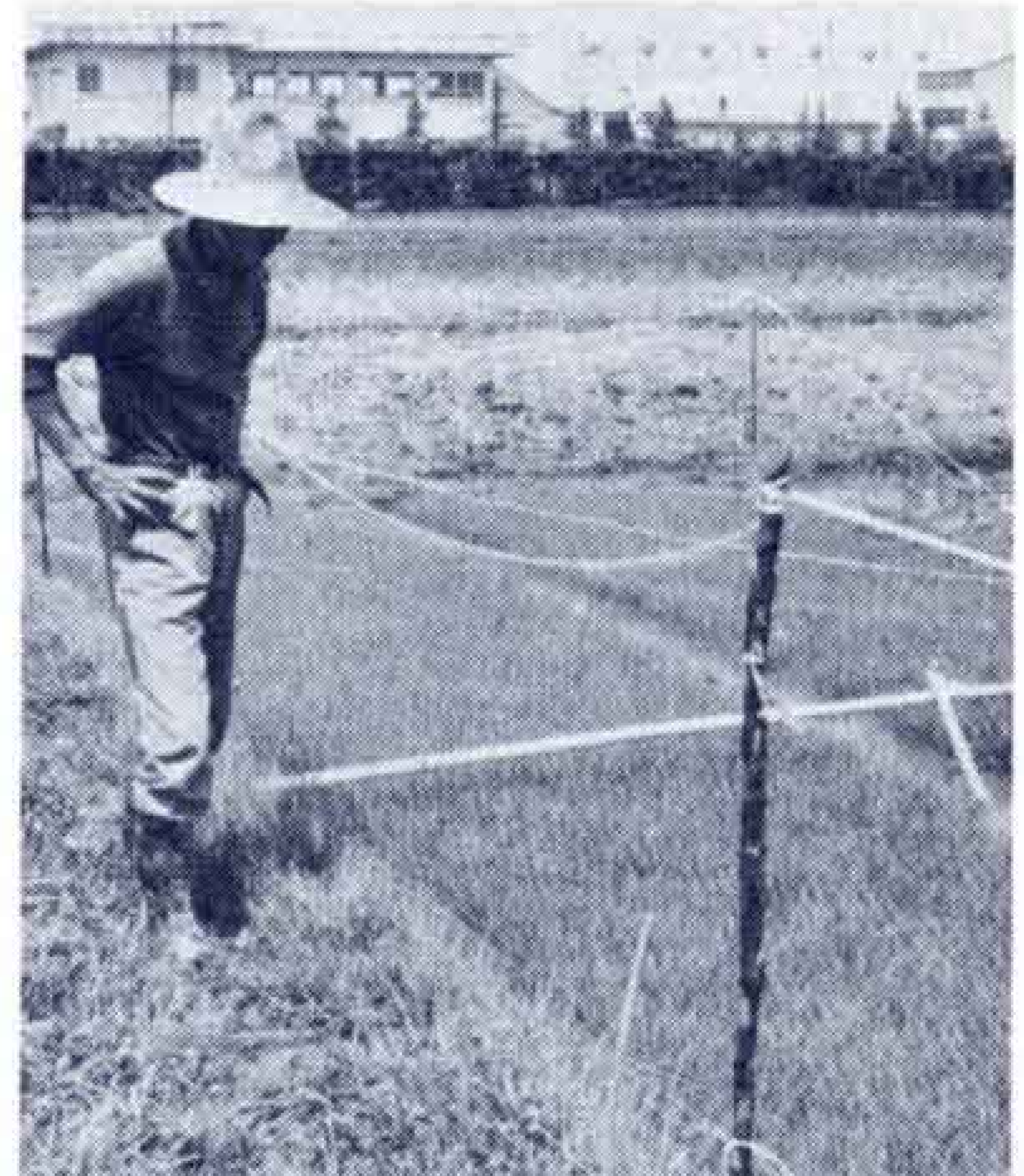
昭和21年には富士南部商工会議所副会頭に就任以来14年にわたり、会頭を補佐して地方商工業の指導育成に盡し、同36年3月商工会議所会頭に

就任、中小企業従業員の待遇改善に努力しました。このため、昭和40年11月3日、多年にわたり商工業の指導育成に盡した功績により勲5等瑞宝章を賜わるとともに、翌41年3月22日、郷土の興隆進展に多大の功勞により富士市名誉市民（旧吉原市名誉市民）の称号を授かっています。

薬品や油類の管理を十分に

例年、田植時期になると芽が出たばかりの稲が、油や重油、汚水などの被害を受ける事故が発生します。昨年は公害課に18件の苦情があり、そのたびに現地で追跡調査を行いました。この苦情のほとんどの原因が油類を含んだ汚水によるもので、耕作者と発生源者との間で紛争が起りほとんどが保償問題まで発展してい

ます。今年はいわい被害がまだ出ていませんが、薬品や油類などを取扱っている工場、事業所は、排水施設や貯蔵タンクを点検し、管理には充分注意してください。万一汚水といっしょに流れ出した場合には、公害課へ連絡し、被害を最少限に食い止めるために適切な措置を行ってください



水道週間 6月1日～7日

限りある「水」を大切に

第17回水道週間が6月1日からはじまります。水道は市民のみなさんの健康で文化的な日常生活を支える最も大切な施設ですが、水需要は年ごとに増加する一方で、これにともなう水源の開発、施設の拡充などは、資材や工事費の値上がりなどできわめて困難です。市も給水体制を整備し、必要な水は確保いたしますが、みなさんも限りあ

る「水」を大切にしましょう。なお、水道部では、水道について理解を深めていただくために、期間中次のことを行います。

■水道相談所を開設

水道工事や料金などで日ごろ感じていること、相談したいことがありましたらお出かけください。

・場所 市民相談室

- ・期間 6月1日～7日
- ・時間 午前9時から午後4時まで（土曜日は午前中、日曜日は休みです。）

■簡易水道の指導

保健所と合同で市内簡易水道の指導を6月2日から4日まで行います。

■特殊給水装置の点検指導

高層ビルや会社などの特殊給水装置の点検、指導を行います。

みんなで考えるくらし教室

7月は商法のいろいろ～

より豊かなかきしい消費生活をおくるには、広い知識が必要です。一家の台所をあずかる主婦が二重価格有害食品のことなど知ってれば、家族の健康管理や商品を選ぶ時にもおおいに役立ちます。そこで広い知識を身につけていただくため、市商工課消費者係では「みんなで考えるくらし教室」を開いています。

第1回目のくらし教室を、5月15日に、これからの食生活をテーマに行なったところ、80人の主婦が参加し熱心に勉強しました。

なお、これからのくらし教室は、7月から1月までに4回開きます。募集はお知らせ広報（暮らしのたより）でその都度行いますから、申込んでください。

くらし教室の予定

7月 商法のいろいろ（月賦、通信訪問販売など）

9月 ねだんを考える（二重価格や

流通のしくみ）

11月 広告に強くなる（広告のしくみと消費者心理）

1月 商品の知識（商品規格と品質）



【80人の主婦が参加した第1回くらし教室】

節約は家庭の中から
職場から

生活協同組合をこぞ存知ですか

手をつなぐ消費者

より良い品をより安くという消費者（組合員）のねがいでつくられたのが生活協同組合です。一般に「生協」と呼ばれています。生協が日本ではじめてできたのは約80年前現在では全国に1200をこす生協があります。市内にも昨年設立され、1900人の会員が加入しています。

一般の企業が特定の株主の出資によって経営されているのに対し、生協は組合員ひとりひとりが資金をもちよってこれをもとに運営されます。事業によって生まれる利益が目的ではありませんから、その分価格も安くなり、よい商品が組合員に届けられます。

生協に加入するにはとなり近所で7人から10人のグループをつくり、運営資金となる出資金をはらいこみます。こうして組合員になると、共同購入で、生協だけが扱っているコープ商品や冷凍食品などが購入できます。

なお、生協についてのくわしいことは、富士生活協同組合（伝法・電51-9459）へお問合わせください。



鈴木清治郎さんら4名が春の叙勲を受彰

政府は天皇誕生日の4月29日、春の叙勲を発表しましたが、市内で4名の方が受彰されました。

受彰されたのは、産業功勞で鈴木清治郎さん、建築功勞で米山仙太郎さんが勲5等瑞宝章、消防功勞で森

川栄作さんが勲7等青色桐葉章、福祉功勞で鈴木タマエさんが勲7等瑞宝章の榮譽に輝きました。

勲5等瑞宝章



全国製紙原料連合会
常任理事

鈴木清治郎さん

(74才・瓜島)

勲5等瑞宝章



元県左官組合副会長

米山仙太郎さん

(73才・今泉1)

勲7等青色桐葉章



元富士市消防団分団長

森川栄作さん

(64才・今井)

勲7等瑞宝章



富士市立養護老人
ホーム寮母

鈴木タマエさん

(56才・森島)

あなたもひとこと 市長に手紙を出しましょう



- 市では、いつでも「市長への手紙」をお受けしています。どんなご意見でもお寄せください。
- 用紙は、市役所、各公民館など市の公共施設にあります。
- 手紙は、切手をはらずに利用できます。
- 回答を必ず出しますので、手紙には住所、氏名、連絡先を必ず書いて下さい

6月の

当直区

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■6月1日

外科 清河医院(広見6 52-6212)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■6月8日

外科 田辺医院(本市場 61-8410)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■6月15日

外科 中央病院(本市場 61-8800)
石川医院(瓜島 52-1985)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■6月22日

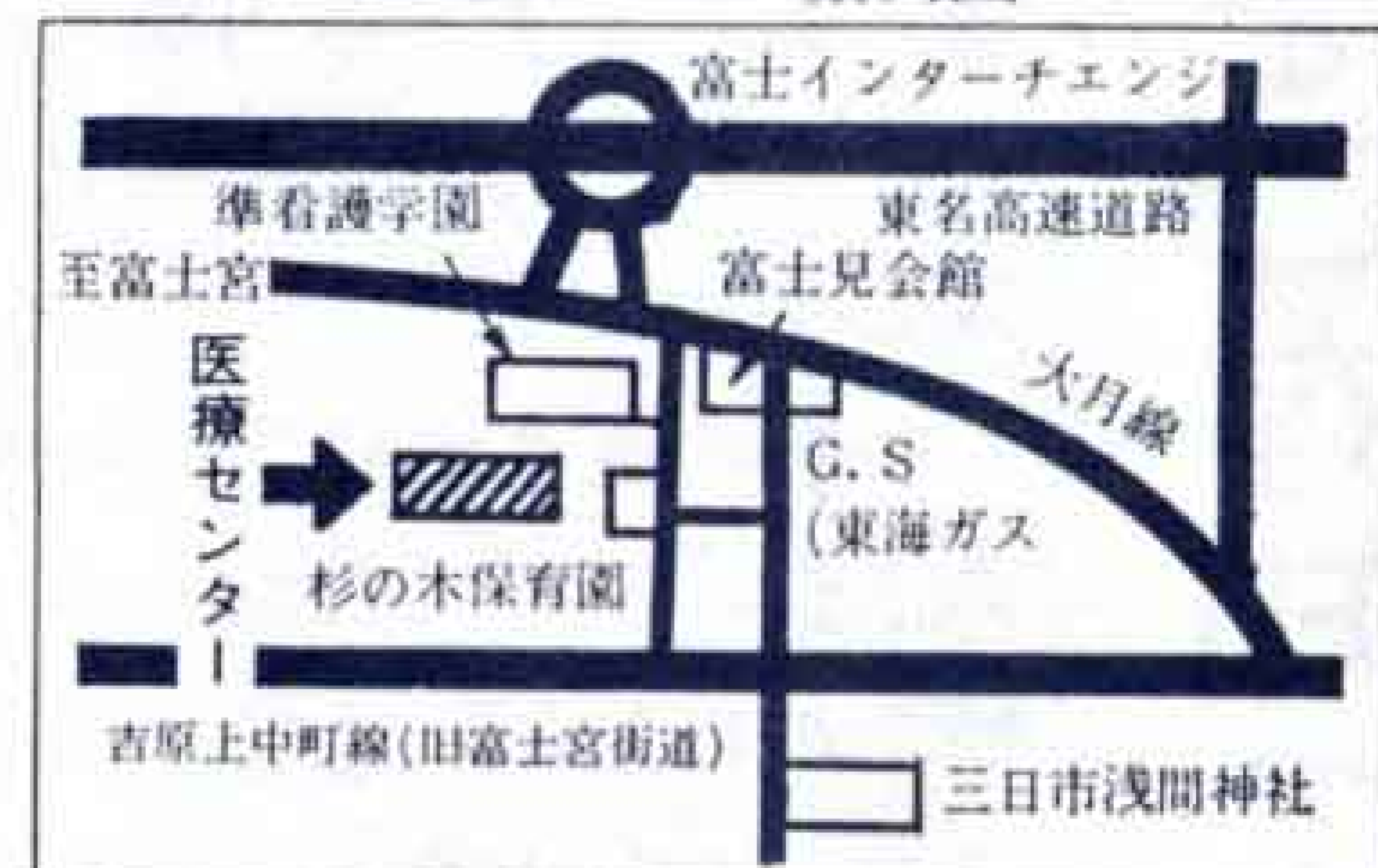
外科 神谷医院(川成島 61-5900)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■6月29日

外科 藤井医院(松岡 61-7811)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図

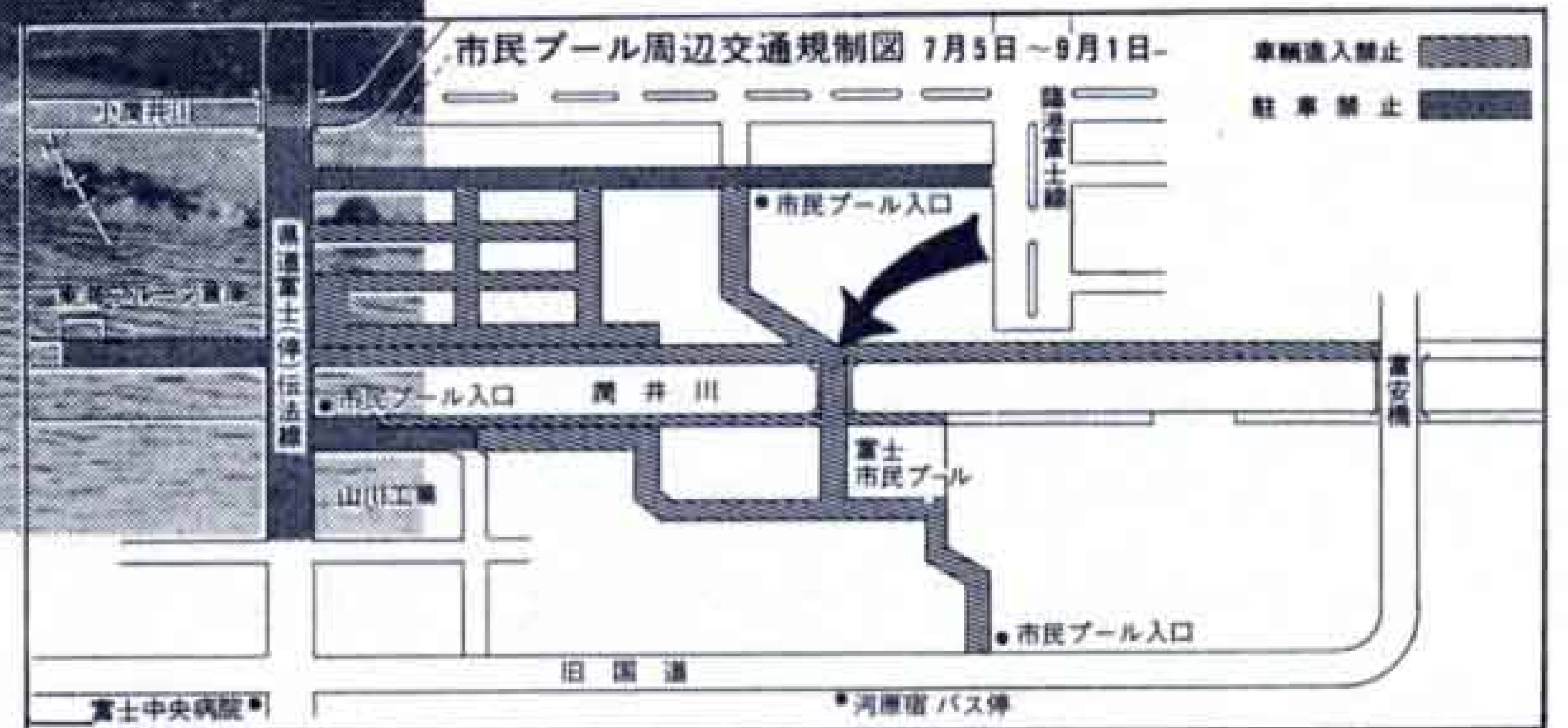


医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。



中央公園橋を建設

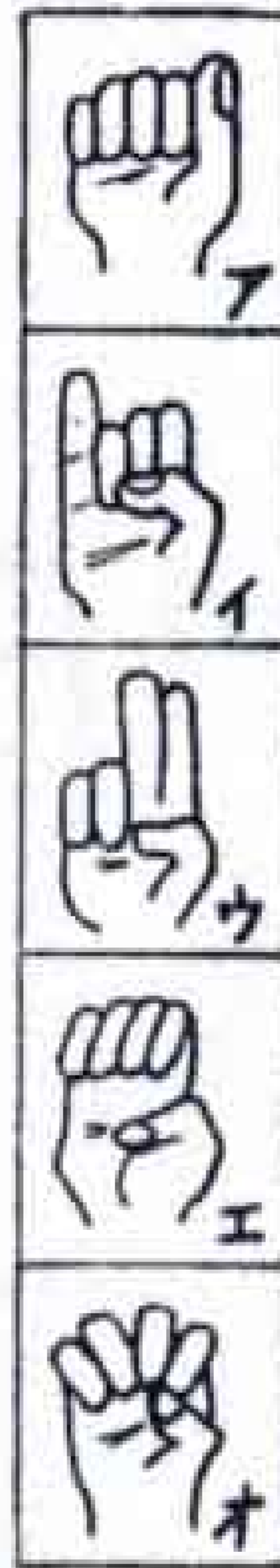
6月15日から市民プールがオープンしますが、市役所側から自転車や歩いて行く方は「中央公園橋」をご利用ください。中央公園橋は市民プールのすぐ北側に自転車と歩行者専用橋として建設を行っているものでまもなく完成いたします。橋の長さは49m、幅2.5mで、総工費は1960万円です。



文化センターで手話講習会

言葉の不自由な方の口となり耳となっていていただく人を養成する手話講習会を、毎週火曜日と木曜日に文化センターで行っています。講座は5月から7月までの3カ月間で、両方の講座に100人が受講しています。受講者はすこしでも早く手話ができるようにと、先生の動作に合わせて一生懸命です。

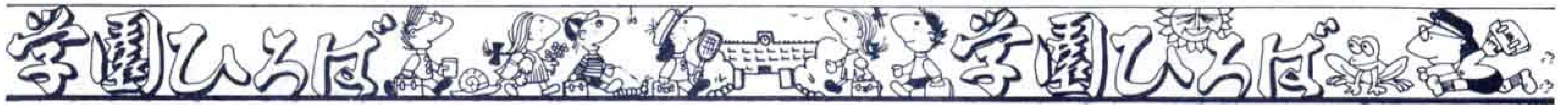
指文字



吉原と富士本町通りで歩行者天国

不断は車でいっぱい道路もこの日ばかりは歩行者のもの——5月18日の日曜日、吉原と富士の本町通りで歩行者天国が行われました。

富士本町通りは、富士見高校のプラスバンド行進ではじまり、金魚すくい、わた菓子コーナーなどが設けられ、1日中家族づれでにぎわいました。



ふじの歴史

へい け 越 平 家 越

いまから約800年前（平安時代の末期）、源氏と平家がいくさをするため富士川をはさんで陣地をつくりました。源氏は東側（現在の田子の浦港から新橋、今泉あたり）、平家は西側（水神の森を中心に五貫島あたり）と広い富士川には両軍合せて27万の兵が集まりました。

ある夜、源氏の武士の一団が平家を夜うちしようとした時、富士川の砂州(さす)一带のよしのあいだにねていた水鳥が、軍勢の物音に驚いていっせいにバタバタと飛び立ちました。その飛び立つすごい音を聞いて平家の軍勢は敵が襲ってきたと思

上や下への大混乱となりました。あわてて川の中に飛び込んだり、びっくりして腰が抜け立てなくなったり平家の軍勢はさんざんの目にあって京都ににげていきました。

この戦では源氏がいくさをしないで勝ったといわれ、その後源氏は、平家の一族を壇の浦まで追いつめて全滅させました。

富士川の戦は古い戦場物語りとして有名ですが、このことを書いた碑が「平家越」として新橋町の田宿川ぞいにたてられています。しかし、この碑がどうして平家越となっているのか、はっきりしたことはわかっ



ていません。

なお、当時の富士川は現在より東側を流れ、堤防もなく大雨が降ると流れの一部が潤井川に合流し、さらに浮島沼から出る沼川にも続いていたと伝えられています。

自転車の安全な乗り方教室

個人、団体とも広見小が圧勝

自転車の安全な乗り方教室を5月18日、富士第1小学校体育館で行いました。市内の8小学校から15チーム75人が参加し、筆記と実技テストで成績を競いました。

筆記テストは交通ルールや道路標識の見方、実技は決められたコースを安全の確認をしながら走るもので交通指導員のお姉さんが審査をしました。この結果、広見小学校チーム

が圧勝し個人、団体とも上位を占めました。

■個人優秀者

- 1位 杉本潜君（広見小6年）
- 2位 対馬友一君（広見小6年）
- 3位 友田光晴君（広見小6年）

■団体優秀チーム

- 1位 広見小A、2位 広見小B
- 3位 富士第1小B

「交通ルール」を守って 正しい自転車運転

昨年1年間に市内で自転車に関係した交通事故は132件もありました。このほとんどが小中学生やお年寄り、前後の確認をしなかったり、ブレーキなどの整備をしていなかったために起っています。

みんなも交通量の多い道路や狭い道路で乗ったり、2人乗りなどは絶対しないでください。乗るときには正しい交通ルールを守り安全運転をしましょう。

